

平成30年度 公益社団法人 川西市シルバー人材センター 事業報告

我が国は、失われた20年といわれる経済の沈滞を活性化するために経済回復に向けたデフレ脱却をめざし、大胆な金融緩和、大幅な財政政策出動を行い、経済サイクルを良好に回して、国民の賃金水準を上昇させ日本経済の底上げを目指しているところです。しかしながら、大企業や富裕層には、恩恵が確認されていますが、中小企業や国民には実態経済が回復しているとは、いいがたい状況です。

しかし、少子高齢化により、生産人口の減少の影響から慢性的な労働力不足の状況となっているため、令和元年度からは、外国人労働力の緩和に舵をきり、労働力不足に対応しようとしています。

そして、現在の労働力不足を補完するもう一つの貴重な戦力として、企業等は高齢者の労働力を期待しており、社会保障費の削減等により年金等の受給額減少等で高齢になっても働きたい高齢者が増えている状況において、労働力として貴重な戦力となっています。

国では、本格的な高齢社会を迎え、国民一人ひとりが長生きしてよかったと実感できる社会を築くために、高齢社会対策大綱を昨年2月に閣議決定しました。

その大綱では、シルバー人材センターの役割を高齢社会施策の中に組み込み、地域における退職後の臨時・短期的な就業機会を提供する団体として拡大等積極的な活用を行うこととしております。

上部団体の全国シルバー人材センター事業協会の取り組みとしては、平成30年度会員数72万5千人を100万人にする。また事業実績については、2,800億円を請負事業、派遣事業ともに増加するように新規事業への取り組みや全国展開企業との派遣事業の契約締結を目指すなど、将来を見据えた展開に取り組みを進めています。

こうした状況ではありますが、当センターの現状は厳しいものがあり、国の高齢社会大綱等において、働く高齢者の経験・知識、技能の活用などにより、地域社会におけるシルバー人材センターの位置付けは重要であるものの、平成30年度の会員数、事業実績については、前年度を下回るものとなっています。

「会員数」は平成30年度末で1,185人となり、平成29年度と比べて、51人の減少(4.1%減、男性会員35人減、女性会員16人減)となり、昨年と引き続き減少しました。

受託事業と派遣事業の「受注件数」は、3,090件と前年度比11.1%の減、両事業の「事業実績」では418,401千円で、0.1%(実績額で、313千円の減)の微減の実績となりました。「就業延べ人員」では、98,100人で4.1%(4,193人の減)の減となりました。

次に会員の安全就業では、全国的に死亡事故が発生しており、特に兵庫県においては、死亡事故が4件発生し、平成31年3月19日に兵庫県シルバー人材センター協会から

「兵庫県シルバー人材センター緊急重篤事故根絶宣言」がだされて、県下全センターに対して重篤事故撲滅に対する行動喚起がなされました。

当センターの平成30年度事故発生状況については、就業中事故が6件、就業途上事故が3件の計9件で平成29年度から2件増加しています。

当センターの事故は他センターと比較すると件数は少ないものとなっていますが、全国的に会員の傷害事故等の増加により、シルバー保険を引き受ける損害保険会社の減少や保険料の上昇など、シルバー事業にあたる影響は大きく、全国的に早急に会員の安全就業に取り組み、重篤事故はもちろんのこと、小さな事故の件数減少にも早急に取り組む必要があります。

平成30年度の主な事業の取り組み状況は、以下のとおりです。

1. 会員の確保と拡充

- (1) 市広報誌（平成31年3月号）へのセンター仕事内容の掲載を行うなど、広報活動の展開を行いました。
- (2) 高齢者の就業相談を実施するとともに、会員の就業相談会を2回実施しました。

| | | |
|------------|-------|---------------|
| 平成30年7月27日 | 参加者4名 | シルバー人材センター会議室 |
| 平成31年2月22日 | 参加者3名 | シルバー人材センター会議室 |

- (3) 新規会員加入の入会説明会を、年間延べ50回開催しました。

2. 就業機会の開拓と拡大

(1) 職群別事業実績（受託事業）

| 区 分 \ 事 項 | | 受注件数 (件) | 就業延べ 人員 (人日) | 事業収入額 (円) |
|-----------------------|-------|----------|-----------------|-------------|
| 職 群 別 内 訳 | 技 術 群 | 14 | 137 | 545,380 |
| | 技 能 群 | 1,110 | 3,482 | 44,781,194 |
| | 事務整理群 | 129 | 1,070 | 2,720,648 |
| | 管 理 群 | 57 | 15,823 | 57,793,103 |
| | 折衝外交群 | 1 | 4 | 14,056 |
| | 一般作業群 | 1,574 | 53,151 | 207,559,964 |
| | サービス群 | 155 | 8,827 | 34,309,231 |
| | 合 計 | 3,040 | 82,494 | 347,723,576 |

(2) 職群別事業実績（派遣事業）

| 区 分 \ 事 項 | | 受注件数 (件) | 就 業 延 べ 人 員 (人 日) |
|-----------------------|-------|----------|----------------------|
| 職 群 別 内 訳 | 技 能 群 | 1 | 95 |
| | 事務整理群 | 1 | 34 |
| | 管 理 群 | 8 | 2,539 |
| | 折衝外交群 | 2 | 374 |
| | 一般作業群 | 31 | 7,600 |
| | サービス群 | 7 | 4,964 |
| | 合 計 | 50 | 15,606 |

(手数料等)

(単位：円)

| センター手数料 | 賃金等（兵シ協） | 合 計 |
|-----------|------------|------------|
| 6,926,040 | 63,752,301 | 70,678,341 |

注：受託事業 347,723,576 円 + 派遣事業 70,678,341 円 = 合計 418,401,917 円

(3) 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」として、シルバー派遣事業及び就業開拓等に取り組みました。

(4) 独自事業では、パソコン訪問事業及び墓清掃事業を実施し、収入額は 79,000 円でした。

3. 安全および適正就業の推進と徹底

(1) 7月の「安全就業強化月間」に基づき、安全委員会による就業現場の巡回視察を平成30年7月3日に実施しました。また、安全就業推進員による安全パトロールを定期的実施し、会員の就業に応じた安全意識の向上に努めました。

(2) 会員の安全就業に対する意識の高揚を図るため、平成30年5月に「安全標語」の募集を実施し、下表の作品が選定されました。

| | | |
|---------|---------|--|
| 標 語 作 品 | 最 優 秀 賞 | 人の身も 我が身と思う 安全作業 (亀井 正一氏) |
| | 優 秀 賞 | <ul style="list-style-type: none"> ・見逃すな いつもと違う わずかな変化？ ・これ位 それがそもそも 事故のもと ・安全は 基本動作の 繰り返し ・仕事前 朝の点呼で 事故防ぐ |

(3) 会員の就業に必要な安全講習会を実施しました。

4. 組織体制（会員・事務局）の活性化と強化

【会員の体制】

- (1) 地域班及び職群班活動をとおして、「自主・自立、共働・共助」への意識向上を図りました。
- (2) 会員の同好会活動により、会員相互の親睦が図られました。
- (3) 会員の知識や技能の向上を目的とした講習会等を実施するとともに、就業機会に応じた技能研修を実施し、会員の技術力の向上に努めました。

| 開催日 | テーマ | 講師 | 参加者 | 場所 |
|-------------------|-----------|----------------|-----|----------------|
| 平成30年6月1日 | ハウスクリーニング | 株式会社ダスキンプロスタッフ | 17名 | シルバー人材センター研修室 |
| 平成30年11月2日、9日、16日 | 毛筆筆耕 | 会員 古賀七五三男 | 31名 | シルバー人材センター会議室 |
| 平成31年1月29日 | 健幸測定会 | 川西市健幸政策課職員 | 29名 | 川西市保健センター健康教育室 |
| 平成31年3月18日 | 植木剪定 | 会員 田浦豊昭 | 9名 | 湯山台運動公園 |

- (4) 兵庫県シルバー人材センター協会と連携して、平成30年9月に「生活支援（施設・訪問介護）スタッフ講習会」を当センター会議室において5回コースで実施し、延べ60名が参加しました。
- (5) 会員と就業に関する分析や検討に伴う「意見交換」を行うなど、事業運営の活用に努めました。

| 開催日 | 職群・職班名 | テーマ | 参加者 | 場所 |
|------------|--------------|-----------------|-----|---------------|
| 平成31年1月30日 | 家事援助サービスグループ | 家事援助業務について意見交換 | 12名 | シルバー人材センター会議室 |
| 平成31年2月14日 | 公民館管理グループ | 公民館管理業務について意見交換 | 24名 | シルバー人材センター会議室 |
| 平成31年2月20日 | 機械刈除草班 | 機械刈除草業務について意見交換 | 15名 | シルバー人材センター会議室 |
| 平成31年2月28日 | 手刈除草班 | 手刈除草業務について意見交換 | 21名 | シルバー人材センター会議室 |
| 平成31年3月14日 | 植木剪定育成班 | 植木剪定業務について意見交換 | 17名 | シルバー人材センター会議室 |

| | | | | |
|------------|-------------------|------------------------|-----|-------------------|
| 平成31年3月20日 | 配布班 | 配布業務について 意見交換 | 16名 | シルバー人材センター 会議室 |
| 平成31年3月27日 | 自転車整理及び 指導グループ | 自転車整理・指導業務 について意見交換 | 42名 | シルバー人材センター 会議室 |

【事務局の体制】

- (1) 平成28年度に策定した「中期計画」に掲げているチャレンジ項目等の達成に向け、計画促進のための進行管理に努めました。
- (2) 職員の業務分担の見直しを行うなど、就業機会と受託事業の効率的、効果的な事業運営に努めました。
- (3) 職員の倫理意識や服務規律の向上を目的とした、法令遵守等に関する職員研修を実施しました。

5. 積極的な広報・啓発活動の展開

- (1) ホームページに「センターだより」を掲載するなど、事業拡大等への活用による情報発信を行い、事業の普及啓発に努めました。
- (2) 機関紙「センターだより」を年3回発行し、センターと会員との情報の共有や、安全就業への意識啓発等に取り組みました。

| | |
|-------|--------------|
| 第143号 | 平成30年7月号を発行 |
| 第144号 | 平成30年11月号を発行 |
| 第145号 | 平成31年3月号を発行 |

- (3) センター事業内容のチラシを平成31年2月に市内各戸へ配布し、会員の募集及び企業等の受注拡大のPR活動を行いました。
- (4) 毎年10月に全国一斉で実施する「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」活動の一環として、平成30年10月19日にボランティア活動を行いました。会員16名が参加して猪名川河川敷を清掃し、センターのPR活動を実施しました。